



第三回漁協組婦人部大会は十七日午前十時から平市公会堂本館開催。出席者は約六百人が集まつて開かれ、三代岸子長の式辞、知事代理の折笠重義副長らの来賓祝辭があつて、勿采漁協婦人部渡辺千恵子さん(二十二歳)が優良婦人賞として表彰その協議に入り、①漁船組員の終油取り扱いの危険防止と安金取り扱いの教育の実施、②漁業生計の月給制度の実現、③婦人賞金三年一億円達成運動、漁村生活の合理化の四件を方場一致で可決、因縁機関に実施するよう懇意することになった。

同大会には①新潟県下夫をじひ、促進するため、生活改良普及員の確立、婦人の受け入れ体制の確立、各種講習会の開催による教養、家庭の高齢化によることなどがあつた。また「漁業漁業者は多くの困難を克服しながら、生産性向上と所得金に振り替へ、一方の生活費を増加させた。特に家計簿を記帳し、若い人の生活費を上げるよしの活動に一層の努力を致せ」というのを、それに呼応して現れ、その手始めに現れ、漁村生活の合理化を始めた。

三力年で一億円の貯金運動 平市で県漁協組婦人部大会開く

平市で県漁協組婦人部大会開く

いわき民報

発行所 平市田町63
◎いわき民報社
社長 野沢武蔵
電話 (代表) 4161
振替口座(郡山)4028

秋の
きもの
呉服の
やまとや

常磐、郡山地区を一本化

昭和45年には人口百万突破の新都市

(上)

新産業都市計画の構想
新産業都市建設法をもつて、本県では常磐と郡山両地区が名乗りを上げて来たが、県新産都市建設特別委が六日、両地区を一本化して、中央に強く働きかけることを決めた。両地区間の道路を整備し、それの地区を通じた産業を統合し、八十一万余の人口が四十五年には百八万人になる計画。地域の総面積は県内の二十五万七千余平方キロ。一本化した建設計画の主な内容は次のとおり。

経済指標
十五年次(三業)(農林業)が七万七千人(二十九人)、ひのうも第一次産業は減少して十三万人(二十三人・八%)、第二次産業は十六万三千人(二十九人・七%)、第三次産業は二十五万七千人で、その内訳は(%)となる。両地区的工業、第一次産業(農林水産)は十七万八千人(四十九人・五%)、第二次産業は五十四万六千人(一百五十八人)、第三次産業は五百四万六千人(一百五十八人)である。

新産業都市計画は、

